

# えひめ地域づくりアワード・ユース2024

次の世代の地域づくりを担う若い世代の活動を支援し、地域活性化につなげることを目的に、高校生等の地域づくりに関する活動を表彰する『えひめ地域づくりアワード・ユース2024』を当センターと地域づくり研究会議との共催で開催しました。



最終審査発表校の皆さん

第8回目となる今回の応募数は15校26作品（総勢246人）でした。10月～11月に書類による一次審査を行い、令和6年12月7日(土)、テクノプラザ愛媛1階テクノホールにおいて、上位5団体を対象とした最終審査及び表彰式を実施しました。どの取り組みも熱意にあふれ、地域への愛着と誇りを感じる作品の数々でした。審査の結果は次の通りです。

## 最優秀賞

・愛媛県立上浮穴高校「くまもるず」

## 優秀賞

- ・愛媛県立三崎高校「シン・せんたん部」
- ・愛媛県立大洲農業高校
- ・生産科学科果樹プロジェクトチーム

## 審査員特別賞

- ・愛媛県立北宇和高校三間分校「地域情報ビジネス部」
- ・愛媛県立上浮穴高校「きらくま」

## 特別賞

- ・愛媛県立大洲農業高校「生産科学科果樹プロジェクトチーム」
- ・愛媛県立小松高校「TEAM T SUBAKI」
- ・愛媛県立北宇和高校三間分校「地域情報ビジネス部」
- ・愛媛県立宇和島東高校津島分校「アクセサリー工房 海花」
- ・愛媛県立宇和島水産高校「宇和島を盛り上げ鯛！」

(順不同)

当事業は、愛媛県、愛媛県教育委員会、愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛(順不同)よりご後援をいただきました。併せて、高校生の地域づくり活動にご理解・ご賛同をいただいた14の企業・団体の皆さまより、副賞として商品等をご提供いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

以下、最優秀賞を受賞された愛媛県立上浮穴高校「くまもるず」の活動をご紹介します。



優秀賞 愛媛県立大洲農業高校「生産科学科果樹プロジェクトチーム」



優秀賞 愛媛県立三崎高校「シン・せんたん部」



最優秀賞 愛媛県立上浮穴高校「くまもるず」



審査員特別賞 愛媛県立上浮穴高校「きらくま」



審査員特別賞 愛媛県立北宇和高校三間分校「地域情報ビジネス部」



企業・団体の皆さまより

天空の郷に伝わる地大豆・地雑穀の継承と普及  
 ↳地域と連携した活動で地域資源を未来へ残せ!↳

愛媛県立上浮穴高等学校「くまもるず」

**地大豆・地雑穀とは**

地大豆である「久万大豆」は、昭和32年頃、久万農業試験場で作り出され、愛媛県の奨励品種に指定され生産量が増大しました。しかし、昭和36年の大豆輸入自由化により、次第に減少し幻の大豆と呼ばれていました。

また、地とうきびを始めとした地雑穀も古くから栽培・継承され、多くの郷土料理が伝承されています。しかし、食文化の変化、農家の高齢化により栽培が減少、このままでは久万高原町の大切な地域資源が無くなる可能性があります。

**地大豆・地雑穀の栽培継承**

私たち「くまもるず」は、2023年から地大豆・地雑穀の継承に取り組み、栽培から商品開発、普及活動を展開しています。20年以上前に先輩が久万大豆を復活させましたが、2014年



地域農家への栽培普及



久万高原町に伝わる地大豆・地雑穀

の種子を最後に学校での栽培は途絶えていました。そこで、10年ぶりに栽培を再開させ、収穫まで成功させました。さらに、町内農家から栽培希望の連絡をいただき、種子を配布して普及の第一歩を踏み出しました。地雑穀の栽培は、農業指導班の指導をいただきながら実施し、収穫、脱穀まで行い、商品開発に利用しています。

**地域資源を活用した商品開発**

昨年度から県久万高原農業指導班と協働した活動を行い、雑穀をひき肉の代わりに使用したキーマカレー「クーマカレー」を使った商品開発依頼を受け、カレーナンを開発しました。町内で開催されたイベントでは、開始2時間で完売する好評ぶりでした。また、雑穀を手軽に日常使いしてもらうために、水を入れて煮詰めるだけで完成する雑穀カレーの素の開発に着手しました。中間支援組織「ゆりラボ」、「まんてんスパイス販売所」の協力を得て、「ぶちぎびカレー」を完成させました。さらに、久万大豆を栽培から加工まで体験・学習ができる久万大豆栽培キットの作製や、小



商品化されたぶちぎびカレー



ぶちぎびカレー開発の流れ

麦アレルギーに対応した焼き菓子づくり、県内の菓子店にご指導いただき、とうきび粉と寒梅粉で作るサブレの開発・販売を行いました。

**普及活動・情報発信**

9月には、ぶちぎびカレーの試食販売会を実施。子供からお年寄りまで様々な年代の方に試食をしていただき、多くの御意見をいただきました。長期間保存ができ、水で煮詰めるだけという点が防災食としても利用できると、防災グッズを取り扱う会社の方からも「商品を取り扱えないかと」声をかけていただき、ぶちぎびカレーの可能性を実感しました。10月にはFM愛媛の番組に出演、12月にはふるさと納税返礼品にも採用されました。

活動当初から愛媛新聞にも継続して取材をしていただくなど、活動や地域資源を広める機会を多くいただきました。今後、イベント参加など普及・情報発信をしていきます。

産官学民が連携した活動に発展し、これからも地大豆・地雑穀の継承・普及活動に取り組み、先人から受け継がれてきた久万高原町の宝を、私たち高校生の手で、地域と協働しながら未来へ繋げていきます!



くまもるず集合写真



ぶちぎびカレー試食販売会